

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表		2020年3月31日	事業所名	ベストライフ株式会社 多機能型児童発達支援事業所たんぽぽはうす		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室等スペースは、適切に確保している。	プレイルームが出来た為運動機能訓練と机上訓練を分けて行っている。
	2	職員の配置数は適切である	○		加配体制をとっている。	配置数は適切である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		完全バリアフリー化されている。お子様が安心、安全にご利用されている。	お子様が情報を得やすくする為壁面に1日のスケジュールを掲示したり、絵カードを活用する等配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		特に、衛生面では気を付けていて、1日に数回は、ソリューション液による部屋の消毒を行っている。	換気・湿潤等十分注意している。教室清掃は子どもたちと共に毎日行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングを行い、全職員で支援内容を共有している。月2回の会議を行い、より細やかな支援法や改善策を考えて実行している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者個人面談時にアンケート調査を行い、集計結果のもと、運営内容や支援内容についても改善に向けて取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			年1回公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修を含め、研修内容を知らせ研修の機会を確保している。	社内外研修により、日々、資質の向上に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズを分析し計画を作成している。	子供1人1人の特性や課題をアセスメントシートを活用しながら特性にそった、支援計画を作成する。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		児童アセスメント評価シートを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		こどもの状況に合った支援計画を作成しているが、「地域支援」の部分で不十分だと思われるので、今後、見直していく	家族支援は、家庭環境に合わせて行っている。関係機関と連携している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		週案の中に支援計画の短期目標、長期目標をいれ、目標に沿った支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月1回、会議を行い月案を立て、それに沿って週案を立てている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節行事や郊外活動を取り入れている。	グループ内で検定を行う等、児童の特性に合わせて得意なところを伸ばしていけるよう工夫している。 ダンス、音楽療法を定期的に行っている。外国人講師による英会話教室も実施している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況に応じて、活動の組み合わせその赴きをどちらに置くかを考えながら、作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に、支援内容や役割分担をボードを使って確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ノートを使って職員間で共有している。	全員周知が不十分で共有出来ていないことがあり、連絡ノートを確実に全員が確認しサインを行い管理者が確認する様にした。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録している。	記録の活用があまり出来ていないので、職員間で検証していく。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的モニタリングを行い、見直しをしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者及び保育士が参画、必要に応じて看護師が参画している	関係機関との連携を図っていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じてこちらから、連絡したり、向こうからの働きかけに応じ、連携している	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		看護師が送迎をする等対応している	看護師が非常勤職員である為看護師が出勤する曜日のみのご利用となっている。今後検討していく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		行っている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		積極的に移行支援を行い支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今年度、保育所移行された児童の件で保育所と書面でやりとりしたり、担当者会議に参加して相互理解を図った。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		積極的に移行支援を行い支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	就学前の支援に於いて、学校や行政の教育機関と情報を共有しその子に適した進学がなされる様に連携している。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	機会があれば積極的に受けている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	残念ながら、今のところ機会がない。	これから、お互いの相互理解のもと、交流の場を持たせたいと思う。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	年に一度参加している。	管理者のみ参加している。今後は職員の多くが参加できるように勤務を調整していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃は連絡帳、または電話により保護者と伝えあっている。	年に数回保護者会を開催している。個人面談の機会を設けて情報を共有している。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要に応じて支援を行っている。	必要に応じ御家族の面談をし療育等のアドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、質問や疑問に答え、納得して頂いている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に保護者面談を行い悩みを聞き、助言や支援を行っている。	面談の日程や期間など保護者の意向を取りいれ柔軟に対応している。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を定期的に行って、保護者同士の会談の場を設けている。	父母の会の立ち上げには至っていない。今後検討していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速かつ適切であるかは保護者の方々の捉え方により一概に言えないが、誠意をもって対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の活動予定表を配布している、定期的にお便りを配布情報提供している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		取り扱いには、十分注意を払っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者との信頼関係の構築に努めている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ポスターやホームページで参加を呼びかけている。	グループ全体で祭りや行事を開催、地域住民の方や高齢者の方、障がい者の方と触れ合うことで、児童の社会性を養うことにも役立っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		避難訓練は定期的に行っている。	感染症対応マニュアルに基づいて、手洗い、うがい、手指消毒、を徹底、訓練室の換気、湿潤、消毒、清掃を行い、送迎車の消毒も行っている。免疫を高める為1日に数回、「笑い」を取り入れている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練は定期的に行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者からの情報収集と保護者同意のもと、医師の説明を受けている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示に従い、日々注意をしている。	アセスメント時に確認し調理室、教室内にボードを使って視覚化し職員の意識付けを行っている。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		状況を記録し、検証する体制を整えて再発防止に努めている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		社内外に問わず、虐待を防止する取り組みの研修を積極的に参加している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		身体拘束については、対象児がいなかったこともあり、話し合いを持ったことはないが、今後、あらゆる事を想定して、職員間で話し合い決定していきたい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

事業所名	ベストライフ株式会社 多機能型児童発達支援事業所たんぽぽはうす
------	---------------------------------

保護者等数/児童数	20
回収数 [割合 %]	14 [70%]

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11	2		1	・広く整理されている。	・プレイルームが出来て、運動訓練と机上訓練が分けて行える様になりました。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	7	5		2	・先生も多く子どもにたずさわっていると思う。 ・目配りが出来ていると思う	・より一層、研修会への参加や日々の検討会で専門性を高めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			4	・個々に合わせたバリアフリーが工夫されていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1	1	3	・清潔だと思う ・小さなゴミが落ちていました。	・清潔には留意しているつもりでしたが、ご指摘がありました小さなゴミもしっかり見つけて処理していきます。毎日の清掃、消毒を徹底していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	11	1		2		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1		3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	1		4		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	3		3	・もっと外での活動を増やしてみてもいいと思います。 ・だいたいいつも同じです。	・毎日、取り入れているプログラムもあります。しかしプログラムが固定化しない様に更に工夫していきます。外遊びの回数を増やしていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	2	7		
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	11	1		2	・電話で簡単に説明をうけた。 ・通所前に説明をうけた。	・初回利用前に必ず重要事項を説明し料金についてもしっかりと説明していますが、説明し忘れていた旨お電話したもと思われ、今後しっかりと説明いたします。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	9	2		3	・直接の説明が不十分だった。	・児童発達支援計画を示しながら支援内容をわかりやすく丁寧に説明していきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	5	4		5		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1		3	・共有出来ていないことがある ・連絡帳に制作活動をしましたと書かれていたが、もっと具体的にわかりやすく伝えてほしい	・連絡帳で具体的に支援の内容やお子さんの健康状況、発達の状況、課題等お伝えしていきます又保護者や担当者会議でも共通理解できる様に説明いたします。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	1	1	3	・行事等のお知らせを早めに頂きたい ・個別療育を希望しているが空きがないとのこと、空きができるのを待っている。	・お知らせはなるべく迅速に配布出来る様に心掛けます。 ・個別療育に関しては、現在空きがない状況ですが、なるべく早く調整をさせていただきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	3		7		・父母の会の立ち上げを検討しています。 行事の際保護者の方がご連携して参加いただいています。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	8	1	1	4		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5	4	1	4		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	6	4	1	3		
19	個人情報の取扱いに十分注意されている	8	1		5			
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	5	1		8		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	2		9		・避難訓練の内容等お伝えしていきます。 非常災害時に備えて保護者の方にも参加して頂く訓練を計画します。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	13			1	・自宅で先生やお友達の名前を言っています。 ・毎日、とても楽しみに通所しており、こちらも安心して送り出しています。	・今回の評価を受けて、職員の励みになりました。子どもたちの思いに寄り添い、支援の充実を図ります。
	23	事業所の支援に満足している	9	4		1	・子どもが少しずつ成長出来ているのも先生方の支援があったからだと思います。 ・もう少し連絡帳の内容を検討してほしい。	・お子さんの成長の為支援を継続していきます。連絡帳の内容を検討し毎日のお子さんの成長の様子をしっかりとしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。